

平成26年度 行政評価 施策カルテ

施策名	4 流通機能の充実
-----	-----------

施策主管課	中央卸売市場	総合計画記載頁	138ページ
-------	--------	---------	--------

1 施策の位置付け

政策の柱	IV 市民の豊かな暮らしを支える活気と活力のある社会を築くために	政策名 (基本施策名)	18 商工業の活力を高める	政策の達成目標 (基本施策目標)	社会経済環境の変化に柔軟に対応し、「ひと」、「もの」、「情報」等が活発に行き交い、地域経済が活性化しています。
------	----------------------------------	----------------	---------------	---------------------	---

2 施策の取組状況

施策目標	食料品などの流通体制が確保され、消費者に安定的に供給されています。
------	-----------------------------------

① 施策指標	指標名(単位)		H24	H25	H26	H27	H28	H29 (目標年)	評価
	指標1	中央卸売市場年間取扱金額(億円)	単年度目標値	536	543	550	557	564	
	現状値	464億円	実績値	430	413				
	目標値(H29)	571億円	単年度の達成度	80.2%	76.1%				
指標2		単年度目標値							
	現状値	実績値							
	目標値(H29)	単年度の達成度							
		単年度目標値							
	現状値	実績値							
	目標値(H29)	単年度の達成度							

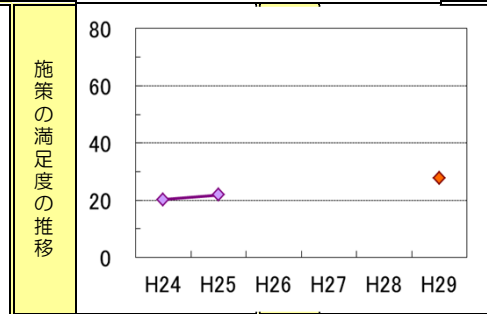
② 市民意識調査結果	指標名(単位)		H24 (現状値)	H25	H26	H27	H28	H29	評価
	指標3	施策の満足度(%)	調査結果	20.2%	21.9%				
	目標値(H29)	27.7%	前年度からの増減	1.7%					
③ 主要な構成事業の進捗状況 (主要な構成事業の個別の進捗状況は、「3 施策を構成する事業の状況」を参照)									A

【参考】中核市等との水準比較	指標名(単位)		H24	H25	H26	H27	H28	H29
	中央卸売市場取扱高(青果物,千円)/市民1人	中核市平均		52	50.6			
実績値			65.5	59.6				
中核市での本市の順位			4位/17市中	4位/16市中				
中央卸売市場取扱高(水産物,千円)/市民1人			42.7	42.9				
中央卸売市場取扱高(水産物,千円)/市民1人	中核市平均		42.7	42.9				
	実績値		36	30.3				
	中核市での本市の順位		8位/15市中	10位/14市中				

※『①施策指標』の単年度の達成度の計算について

★ 通増型の指標(目標値が基準値より増加することが望ましいもの)	$\frac{\text{実績値}}{\text{目標値}} \times 100 (\%)$
★ 通減型の指標(目標値が基準値より減少することが望ましいもの)	$\frac{\text{目標値}}{\text{実績値}} \times 100 (\%)$



※評価の考え方	① 施策指標	A: 達成度90%超 [33点]	B: 達成度70%~90% [25点]	C: 達成度70%未満 [15点]
	② 市民意識調査結果(満足度)	A: 前年度より向上 (+5pt超) [33点]	B: 前年度同水準 (±5pt以内) [25点]	C: 前年度より低下 (-5pt超) [15点]
③ 主要な構成事業の進捗状況	A: 計画以上 (主要な構成事業の2割超が計画以上) [33点]	B: 計画どおり (主要な構成事業の8割以上が計画どおり) [25点]	C: 計画より遅れ (主要な構成事業の2割超が計画より遅れ) [15点]	
総合評価	順調: (A評価が2つ以上 (C評価がある場合を除く。)) [90点以上]		概ね順調: (主にB評価が2つ以上) [65点以上90点未満]	やや遅れている: (C評価が2つ以上) [65点未満]

取組内容と成果・成果の要因, 進捗の状況

施策を取り巻く環境等	<ul style="list-style-type: none"> <li>卸売市場を取り巻く社会状況として、市場外流通が増加しており、また、少子高齢化によって食料消費量が減少している。</li> <li>施設については、市場開設から39年目となり、老朽化による緊急修繕工事等が増加しており、また、冷媒ガスの製造禁止による冷蔵設備の更新が必須となっている。</li> </ul>	市民満足度	<ul style="list-style-type: none"> <li>卸売市場は通常時において直接市民が利用できるものではないため、当初から関心がとても低いが、一般開放や各種講座等のイベントにおける来場者からは大変好評をいただいております。市民にとって市場について考える一つの機会になっていることにより、その積み重ねがポイントの増加につながったのではないかと考えられる。</li> </ul>	総合評価	83点
施策指標	<ul style="list-style-type: none"> <li>活性化ビジョン及び推進計画を策定する中で、市と市場関係者の共通した目標値を設定して、市場関係者自ら具体的な施策事業を提案し取り組むなど、目標値の達成に向けた市場内の共通認識と協力体制の強化を図ったことにより、市と市場関係者が合同で集荷拡大要請活動を行うなど、連携して事業を行う体制の深化が得られた。</li> </ul>				概ね順調

3 施策を構成する事業の状況

※凡例 ○:「総合計画の戦略プロジェクト・主要事業」対象, ★:「③ 主要な構成事業の進捗状況」対象(最大5事業選択)

No.	事業名	戦略P・主要事業 ※	事業が属する総合計画の 構成事業名	事業内容		事業の 進捗状況	H25 事業費 (千円)	開始年度	日本一 施策 事業	施策目標を達成するための取組方針
				対象者・物(誰・何に)	取組(何を)					
1	◆市場内コミュニケーションの強化	○★	◆食の安定確保と物流体制の強化	◆市場関係者	◆事業懇談会の開催	計画どおり	0	H24		◆市と市場関係者による、定期的な事業懇談会を設置し、活発な情報交換や集荷・販売戦略の構築など、共通した経営戦略の推進を図る。
2	◆危機管理推進協議会	○★	◆食の安全・安心の確保	◆市場内業者	◆品質管理, 危機・災害対策の強化	計画どおり	0	H22		◆消費者に対して安定して生鮮食料品を供給するため、市と市場関係者が合同で訓練を行うことで、非常時に協力して対応できるよう危機・災害対策力を高める。 ・品質管理を高度化し、安全で安心な生鮮食料品を供給するため、低温売場の拡充を図る。
3	◆宇都宮市中央卸売市場一般開放の推進	○★	◆市場と食に関する情報発信の充実	◆一般開放実行委員会(市場内業者で組織)	◆一般開放の推進	計画以上	1,200	H24		◆市場が生鮮食料品を安定供給する重要な役割を担っていることを消費者に対して広くPRし、市場の理解を深めることを通じて生鮮食料品の消費拡大を図り、市場活性化の推進に寄与することを目的とした、一般開放の開催を推進していく。
4	◆食育地産地消の推進	○★	◆市場と食に関する情報発信の充実	◆一般消費者	◆市場講座や出張講座, 親子見学会の開催, 食育フェアへの参加	計画どおり	255	H19		◆市場が生鮮食料品を安定供給する重要な役割を担っていることを消費者に対して広くPRし、市場の理解を深めることを通じて生鮮食料品の消費拡大を図り、市場活性化の推進に寄与すること、及び、地場産の美味しい生鮮食料品を知ってもらうことで、地産地消を広めることなどを目的とした、食育地産地消を推進していく。

4 今後の施策の取組方針

今後の方向性	
<p>課題</p> <p>◆市場外流通の増加や少子高齢化による食料消費量の減少など、厳しい社会状況の中、生鮮食料品の安定供給に向けた集荷力及び販売力の強化が求められている。 ◆耐震診断の結果を踏まえた耐震補強工事などのほか、生鮮食料品の安全・安心を確保するために不可欠なコールドチェーン、市場開設から39年経過することによる老朽化対策やフロン対策が必須となる冷蔵設備の更新など、施設や設備について、適正・適確な整備の考え方を整理することが求められている。</p>	<p>方向性</p> <p>〈施策全般〉 ◆市と市場関係者で組織する「連絡会議整備部会」において、活性化ビジョン推進計画の進捗管理を着実にを行うことで、市場の活性化を推進するとともに、施設・設備の整備の考え方を整理し、市場の再整備について方向性を確定する。</p> <p>〈主要事業〉 ◆市場内コミュニケーションの強化…「事業懇談会」において市場内関係者のコミュニケーションを深化させることで、一致協力して活性化ビジョン及び推進計画を推進する。 ◆危機管理推進協議会…コンプライアンスを対外的にPRするとともに、被災時においても、安全・安心な生鮮食料品の供給をいち早く復旧する市場関係者の体制を確立する。 ◆宇都宮市中央卸売市場一般開放の推進…一般開放の開催について県内外に広くPRするとともに、関連棟の常時開放について関係者と協議を重ね早急に実施できるよう取り組みを推進していく。 ◆食育地産地消の推進…市場の各種講座や見学会の実施, 食育フェアへの参加を行い、引き続き食育や地産地消を推進していく。</p> <p>〈その他個別事業〉</p>